

# バリアフリーまちづくり通信

令和7年3月号

発行:東淀川区役所 地域課(企画調整)

大阪市東淀川区豊新2丁目1番4号 電話:06-4809-9927  
←東淀川区役所のホームページでは詳細を掲載しています



協議会

部会

## 第10回 東淀川区西部地域バリアフリーまちづくり協議会 第54回 まちづくり構想部会を開催しました 令和7年3月13日

協議会や部会における令和6年度の取組や令和7年度の活動予定などについて、話し合いました。

### 淡路駅エリア のまちづくり について (地域の皆さん のご意見)

区役所から、地域の皆さんからのご意見を踏まえ、令和6年度末に「淡路駅エリア計画(素案)」をとりまとめることとなっていることについて報告がありました。

(以下は主な意見)

- ◆経済優先ではなく、人間中心、住民主体のまちづくりを実現できるようにしてほしい。
- ◆利便性だけでなく、まちのにぎわいやふれあいも一緒に良くなるように。
- ◆今住んでいる人がこれからも安心して住み続けられるよう、また子育て世帯が定住できるよう、地域の新・旧がうまく融合できるようなまちづくりを進めていきたい。
- ◆今後車道が広くなれば、スピードや交通量が増えるなどの危険がある。歩道と車道をハッキリと分けるなど、子どもや高齢者も安全に歩けるように。
- ◆特に阪急淡路駅の自転車の駐輪場など、対策が必要。自転車の利用マナー、自転車文化をしっかりと築いていきたい。



#### エリア計画(素案)作成に向けた地域意見の聴取

<p><b>方向性①: 「エリア計画の骨格」の内容と概ね一致しているもの</b> (ご意見の例)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新大阪駅との交通アクセスの充実</li> <li>・公園ができればいい。緑が多いまちなみをめざしたい。防災拠点としても</li> <li>・車が増えて渋滞するもの困るが、やっぱり歩いて行きたいようなまちが望ましい</li> <li>・東淡路と柴島が分断されているのがうまく繋がっていきようなまちづくり</li> <li>・地域としては、駐輪場の確保は重要な視点である</li> </ul>
<p><b>方向性②: まちづくりの大きな方向性に関連するご意見であり、「エリア計画」のver1.0に追記し反映するもの</b> (ご意見の例)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでも、住民同士の「つながり」や「住民参加」などに重きをおき、地域活動を行ってきた歴史がある。地域の歴史やこれまでの取り組みの成果を踏まえることが必要</li> <li>・地域主体でコミュニティバスを運行する取組みなどを行ってきた</li> <li>・まちの活性化のため、子育て世帯に定住してもらえような場所にしたい</li> <li>・今住んでいる人たちが住み続けることができる政策を期待する</li> <li>・新地域と既存地域がしっかりと融合するような仕組み</li> <li>・来訪者が、地域住民にとっての日常を同じように経験、「ふだん暮らし」を経験できるような仕掛けを</li> </ul>
<p><b>方向性③: 柴島浄水場用地開発や阪急立高架下空間の活用に関する具体的なご意見であり、今後、エリア計画の更新に向けた具体的なまちづくりの検討において参考とするもの</b> (ご意見の例)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・商業施設、図書館、スポーツ施設、多目的ホール、美術館などが集まる施設を整備</li> <li>・集会所などの地域交流施設、子どもたちが遊べる公園など、地域住民が楽しめる空間を整備</li> </ul>
<p><b>方向性④: まちづくりの方向性に関連する意見であるが、今後、地域において議論を深め検討されるもの</b> (ご意見の例)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新大阪から区役所あたりまで、まちづくりに関するガイドラインといった、ゆるやかな誘導により人が歩くようなまちにしたい</li> </ul>



- ◆梅田もそうだが、最近ではウォーカブルなまちづくり、歩いて自然を楽しむのがまちづくりの主流になってきているようだ。
- ◆地域として、今後人口があまり増えないのであれば、未利用地をうまく活用し、時代や地域のニーズとマッチするようなまちづくりを進めていきたい。
- ◆これから住民参加のまちづくり、つながりのまちづくりをしていく視点を持ち続けたい。
- ◆近畿大学総合社会学部 久教授から、「個別の事業に目が行きがちだが、これまでに地域のみんなで共有してきた方向性を見定めてこそ、それぞれの事業がバラバラにならずに済む。今後、民間事業者にも、駅周辺や浄水場跡地、未利用地など、その方向性に合わせてつくっていったら必要がある。」  
「市全体としてビッグプロジェクトは必要だが、ビッグプロジェクトと住み続けられるまちが共存できるように。私たちの要求ニーズも伝えながら、未来のまちづくりにつなげていきたい。」といったお話がありました。

### 情報提供 & 意見交換

- ◆令和7年度、東淀川区は創設100周年を迎えることから、記念のまちづくり関連イベントを予定しており、区役所から協議会に対し協力の依頼がありました。
- ◆下新庄地域では、コロナ以降5回のワークショップを重ね、アクションプランの叩き台ができました。次回3月28日のワークショップで内容を精査し、今後はそれに基づいて課題解決も図りながら地域の活動を進めていきます。
- ◆東淡路・柴島地域では、2月22日に第1回目のワークショップを開催しました。新しい人や若い人にも参加してもらい、活発な意見も出てよかったと思います。
- ◆区役所から、1月30日開催された「新大阪駅周辺地域まちづくりシンポジウム」について報告がありました。